

事業名 日本海東北自動車道
「阿賀のかけはし」建設事業

日本海東北自動車道「阿賀のかけはし」周辺に生息する野鳥（サギ類）の保全を目的とした環境対策の実施により、事業実施前後において野鳥の生息環境保全（営巣数・営巣範囲の維持）に成功し、地元やマスコミに高く評価された道路と自然生態系との共生を実現した事業



営巣地誘導用デコイ

受賞機関 日本道路公団北陸支社
新潟工事事務所

事業実施期間 平成7年9月～現在

事業費 200百万円

事業等の特徴

道路建設地周辺に生息する野鳥の保全について、工事前段階から専門家で構成する委員会の助言を得、照明、騒音等に気をつけながら工事を実施し、また、保全を目的とした様々な環境対策を実施した。

その結果、野鳥の営巣が減少することなく継続していることが確認され、道路と自然生態系との共生、環境の保全が図られた。

事業の概要と利用者等の評価

本事業は、新潟市、豊栄市境にある流域面積国内第8位の一級河川阿賀野川を渡河する橋長951mのPC連続箱桁橋である。本橋梁が阿賀野川を渡河する地点の中洲に国内でも有数、北陸地域で最大のサギ類のコロニー（集団繁殖地）が存在している。

このため「道路と自然生態系との共生」を目指し、中洲への影響の少ない橋梁形式を採用するとともに、工事中の保全対策として表土の保全、仮設物の自然に近い濃緑色への塗装、低騒音低振動機械の使用、照明方法の工夫、目隠し網の設置等を行った。また、



阿賀のかけはしと中洲（コロニー）

サギ類に中洲の安全性を認知させ、営巣の誘導を図るため、デコイ（サギの模型）を設置するという高速道路の工事では初の試みを行った。

以上の対策は、工事の着手前から地域の専門家で構成する委員会の助言を得ながら行ってきており、その結果、中洲におけるサギ類の営巣が減少することなく継続して確認され、加えて当初営巣が無かった箇所においてもデコイの効果により営巣が確認され、道路と自然生態系との共生、環境の保全が達成されたものと考えられ、今後、ますます求められる地域の自然環境・生態系に配慮した道づくりの先駆けと評価できるものである。

設立以来、継続して開催している委員会においても、サギの営巣数の維持は保全対策の成果であると評価されている。

審査委員会委員の意見等

- ・専門家で構成された委員会の助言を得ながら、サギのコロニーという特殊な生態系の維持を可能とする工事を実現した点において、好例となる。
- ・自然環境保全への配慮、特に、工事区域周辺に生息する野鳥との共生の取り組みが評価できる。
- ・環境配慮型の高速道路事業として評価できる。いろいろな試みを積極的に展開した点や調査（事前と事後）を充実させ綿密に行った点も、好結果をうむとともに、マスコミ等から高い評価を得ている理由であろう。
- ・サギ類のコロニーへ配慮した施設整備やデコイの設置など、道路と自然生態系との共生、環境保全の実践を評価したい。
- ・自然との調和に関しては、継続的な観察の視点が必要と考えられるが、その一歩と考え評価したい。

受賞賛助会員 鹿島建設(株)北陸支店、川田建設(株)北陸支店、飛鳥建設(株)関東土木支店